

各 位

2021 年 10 月 6 日

最新鋭電気炉導入のお知らせ

中部鋼鉄株式会社
代表取締役社長 重松 久美男

中部鋼鉄株式会社（社長：重松久美男）は、本社製造所（愛知県名古屋市）の基幹設備である電気炉を最新鋭の環境対応型高効率電気炉に更新することを決定いたしました。

当社は本年度よりスタートした 21 中期経営計画において、「循環型社会への貢献（スクラップリサイクル）」を基本方針のひとつに掲げ、都市型製鉄所に相応しい環境に調和した電気炉建設の検討を行ってまいりました。

このたび導入を決定しました世界初導入となる最新鋭の電気炉では、溶解時の排熱を利用し、原料である鉄スクラップを予熱・連続装入することで、鉄資源の効率的なリサイクルと大幅な省エネルギー化が実現可能となり、電気炉電力原単位の 15%低減を目指します。また、既存設備に比べ騒音低減率 10%減、ダスト発生量 20%減、この他にも振動が大幅に軽減されるなど地球環境保全に貢献します。さらには、生産性向上による生産能力の拡大により、安定した量産プロセスを実現いたします。

このような先進性が評価され、本件投資は経済産業省の「先進的省エネルギー投資促進支援事業」にも採択されました。

本件を機に、カーボンニュートラル実現に向けた環境対応を一層推し進めるとともに、生産性の向上によるさらなる成長を目指してまいります。

<設備投資概要>

- (1) 環境対応型高効率電気炉
・スチールプラントック株式会社製 ECOARC-FIT™(エコアーク フィット)
- (2) 容量：200 トン
- (3) 稼働開始：2023 年秋 予定

以上